

## PRESS RELEASE

株式会社 アイ・エム・プレス  
I. M. press, Inc  
2013年5月17日



### 「【生活者に聞く!】第27回 Facebookの利用状況について」

**4割弱がニュースフィードすべてに目を通す。**

**3割強は、Facebook上の投稿がきっかけで**

**初めて知った企業・ブランド・商品がある。**

詳細は月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.205(2013年6月号)誌上で!

株式会社アイ・エム・プレス（東京都文京区）は、月刊『アイ・エム・プレス』掲載の連載「生活者に聞く!」シリーズ（調査主体：(株)アイ・エム・プレス／調査協力：(株)ドウ・ハウス）において、Facebookのヘビーユーザーを対象に利用状況についてのネットリサーチを行いました。

#### <調査の概要>

調査主体：(株)アイ・エム・プレス

調査協力：(株)ドウ・ハウス

調査方法：(株)ドウ・ハウス myアンケート

調査期間：2013年4月24日(水)～30日(火)

調査対象：Facebookの利用を1年以上前に開始し、現在、ほぼ毎日利用している  
20～60代の男女

サンプル数：1,025

#### <調査結果紹介>

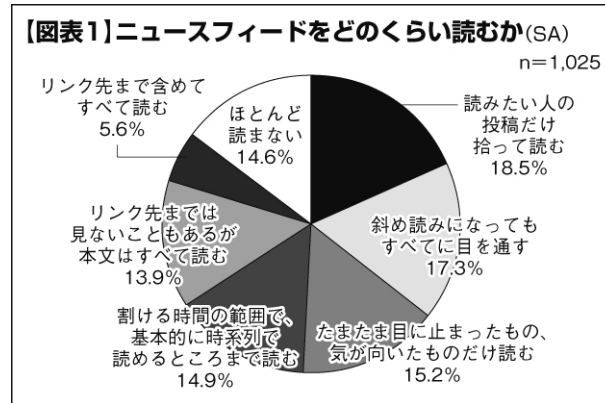
●ニュースフィードすべてに目を通してしているのは4割弱

拾い読み派が3割強

月刊『アイ・エム・プレス』では、1年以上前に利用を開始し、現在、ほぼ毎日利用している20～60代のFacebookヘビーユーザーを対象に、利用状況についてネットリサーチを実施しました。

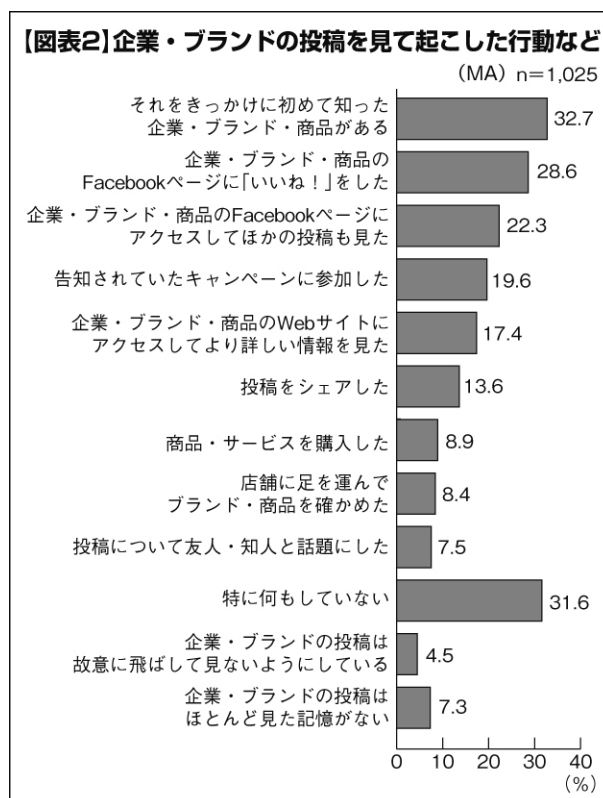
Facebookのニュースフィードをどのくらい読んでいるかについては、「読みたい人の投稿だけ拾って読む」が18.5%で最も多く、「斜め読みになってもすべてに目を通す」が17.3%、「たまたま目に止まったもの、気が向いたものだけ読む」が15.2%、「割ける時間の範囲で、基本的に時系列で読めるところまで読む」が14.9%、「リンク先までは見ないこともあるが本文はすべて読む」が13.9%、「リンク先まで含めてすべて読む」が5.6%、「ほとんど読まない」が14.6%となっていました（図表1）。

すべて読む、あるいは読もうと努力している人が半数強の51.7%、拾い読み派が33.7%といったところ です。



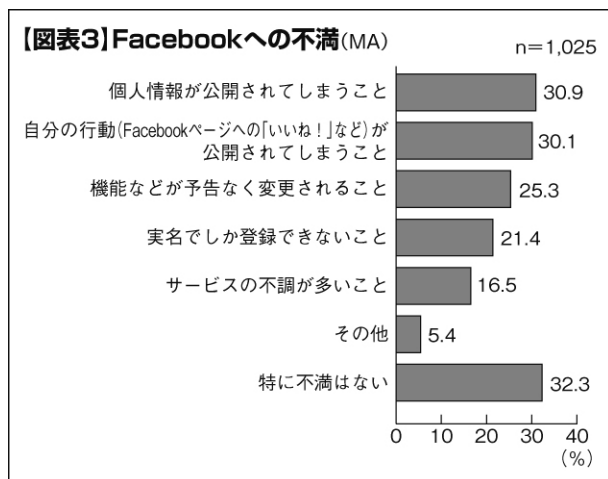
**●企業やブランドの投稿をきっかけに  
3割強が初めて知った企業・ブランド・商品がある  
3割弱がFacebookページに「いいね！」をした**

企業やブランドの投稿に対する反応を聞いたところ、「それをきっかけに初めて知った企業・ブランドがある」が 32.7%に上っており、認知媒体として一定の効果を上げている様子が見てとれました（図表2）。「企業・ブランド・商品のFacebookページに『いいね！』をした」は 28.6%、「企業・ブランド・商品のFacebookページにアクセスしてほかの投稿も見た」は 22.3%、「告知されていたキャンペーンに参加した」は 19.6%、「企業・ブランド・商品のWebサイトにアクセスしてより詳しい情報を見た」は 17.4%、「商品・サービスを購入した」は 8.9%、「店舗に足を運んでブランド・商品確かめた」は 8.4%など、企業・ブランドの投稿がアクションを引き起こしているケースも少なくないようです。また、「投稿をシェアした」が 13.6%と、1割以上がFacebook上で企業・ブランドの情報を拡散。一方で、「特に何もしていない」は 31.6%、これらの投稿を「故意に飛ばして見ないようにしている」は 4.5%、「ほとんど見た記憶がない」は 7.3%となっていました。



## ●個人情報が公開されることに 約3割が不満を感じている

Facebook への不満について聞いた設問では、「個人情報が公開されてしまうこと」が 30.9%で最も多く、「自分の行動（Facebook ページへの「いいね！」など）が公開されてしまうこと」が 30.1%と、自分の情報が公開されてしまうことに対する抵抗感を表す回答が上位に挙がっていました（図表 3）。ほかには「機能などが予告なく変更されること」が 25.3%、「実名でしか登録できないこと」が 21.4%、「サービスの不調が多いこと」が 16.5%などとなっています。一方、32.3%と 3 割以上が、「特に不満はない」と回答しました。



“Facebook疲れ”といった言葉も聞かれています。今回の調査では、1年前と比べて利用時間が「減った」を回答した人の割合は11.1%にとどまっています。

詳しい調査結果は、2013年5月25日発行の月刊『アイ・エム・プレス』Vol. 205（2013年6月号）に掲載しています。月刊『アイ・エム・プレス』Vol. 205の詳細は、<http://www.im-press.jp/magazine/> から。

**「アイ・エム・プレス」Web サイトから  
全設問の調査結果をダウンロードしていただけます（無料）。**

<http://www.im-press.jp/magazine/1000s.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

### <株式会社アイ・エム・プレス>

代表取締役社長： 西村道子

業務内容：出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 6F

### <本リリースに関する問い合わせ先>

(株) アイ・エム・プレス 編集部 / [edit@im-press.jp](mailto:edit@im-press.jp) までお気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-3815-8991 / FAX : 03-3815-8957 / URL : <http://www.im-press.jp/>